

活動報告

開催日	報告内容
2021年 3月2日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>Workshop “Trade Secret Protection and the Public Domain: New Developments in the EU, the US and Japan”（名古屋大学知財法研究会と共同開催）</p> <p>Nari LEE (Professor, Hanken School of Economics) “Between Property and Contract—Trade Secret Protection in EU TS Directive”</p> <p>Ulla-Maija MILLY (Senior Researcher, University of Turku and Hanken School of Economics) “Freedom of the Media and Trade Secrets in Europe”</p> <p>Tanya APLIN (Professor, The Dickson Poon School of Law, King’s College London) “Trade Secret ‘Exceptions’”</p> <p>鈴木 将文（名古屋大学大学院法学研究科教授） “Trade Secret Protection and International Transactions: Issues under Japanese Law”</p> <p>Christoph RADEMACHER（早稲田大学法学学術院准教授） “Remaining Differences in the Requirements for Trade Secret Protection in Japan, the US, and Germany”</p> <p>Sharon K. SANDEEN (Professor, Mitchell Hamline School of Law) “Trade Secret Issues from a US Perspective”</p> <p>ゲストコメンテーター：山根 崇邦（同志社大学法学部教授）</p>
2021年 3月8日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン）</p> <p>中山 一郎（北海道大学大学院法学研究科教授、同大学情報法政策学研究センター長）</p> <p>「COVID-19パンデミックにおける公衆衛生と特許」</p> <p>Branislav HAZUCHA（北海道大学大学院法学研究科教授） “Public Domain and New Technologies in Copyright Law”</p>
2021年 3月10日	<p>知的財産法研究会（オンライン）</p> <p>松井 佑樹（東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻修了、第74期司法修習生）</p> <p>「ビジネス用ソフトウェアのカテゴリ名を選択、配列の著作物性〔Line ct〕（東京地判令和2年3月19日平成30年（ワ）33203号）」</p> <p>※詳細については、本誌本号掲載の評釈を参照されたい。</p>

	<p>鮑 妙堊（東京大学大学院法学政治学研究科研究生） 「写真を参考にしたイラストによる著作権侵害が否定された事例」 ※詳細については、本誌第60号掲載の評釈を参照されたい。</p>
2021年 3月13日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 前田 健（神戸大学大学院法学研究科准教授） 「創薬イノベーションに向けた特許制度と薬事法制の協働」</p>
2021年 3月16日	<p>パブリック・ドメイン研究会（The 7th Intellectual Property Junior Researchers Workshop）（オンライン） 清水 紀子（北海道大学大学院法学研究科博士後期課程） “How Can We Calculate Extended Term of Protection for a Pharmaceutical Patent in Japanese Patent Act?” 叶 鵬（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程） “Preparation for Business Requirement on Prior User Rights in Patent Law” 邱 紫雁（名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程） “Interactive Inventions and Multi-Actor Infringement” 鈴木 敬史（神戸大学大学院法学研究科博士後期課程） “Moral Rights Protection in the United States” Yu-Hsuan CHENG（早稲田大学大学院法学研究科修士課程） “Enhancing Damages for Copyright Infringement in the Digital Age in Japan” Diah Anggraeni JATRANINGRUM（金沢大学大学院人間社会環境研究科博士後期課程） “The Utilization of Geographical Indications on Heritage Agri-Foods in Indonesia: Legal Implementation and Considerations for Future Reform” 菊田 洋子（早稲田大学大学院法学研究科修士課程） “Reconsidering the Legal Differences between a Patent License and a Covenant Not to Sue”</p>
2021年 3月19日	<p>パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 奥邨 弘司（慶應義塾大学大学院法務研究科教授） 「いわゆる2次創作とフェア・ユース～最新米国判決を手がかりに～」 小嶋 崇弘（駒澤大学法学部准教授） 「権利制限規定・法定許諾による著作物の利用と対価の還流－英豪両国の著作権法を手がかりに－」</p>

2021年 4月3日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 顧 昕（国家知識産権局知識産権発展研究センター副研究員） 「インターネット上の中国プラットフォームの商標権侵害責任」
2021年 5月3日	パブリック・ドメイン研究会（オンライン） 朱 子音（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程） 「のれん分けの事業者に対する商標権の行使が権利濫用に該当すると認めた事例」 ※詳細については、本誌本号掲載の評釈を参照されたい。